

平成28年度青森県公社等経営評価書

(平成27年度決算ベース)

法人名等				法人の自己評価(経営評価指標)					
5	青森県道路公社								
所管課名	県土整備部道路課								
決算状況 (単位:千円、%)									
出資	資本金	県出資額	県出資比率						
	8,235,500	8,235,500	100.0						
決算	前期利益	当期利益	利益剰余金						
	1,312	0	23,178						
資産	資産	負債	純資産						
	33,388,189	25,129,511	8,258,678						
財務分析指標									上記についての所管課の意見・評価
自己資本比率	総資産 経常利益率	県財政関与率	総資産回転率	売上高 経常利益率	【目的適合性】	◎			
24.74	2.55	4.57	5.91	43.17	交通ネットワークの早期構築による地域経済の発展を図るために、有料道路事業により早期整備と適切な管理、運営に対する大きな役割を果たしてきたと考えられる。 青森空港有料道路については、今後どのようにすべきか、社会経済情勢や今後の利用見込み、県民や利用者の意向等も踏まえながら、検討しているところであり、今年度中にはとるべき方向性を定める予定である。				
販売管理費 比率	人件費比率	流動比率	借入金比率		【計画性】	○			
3.50	3.19	42.98	27.50		経営コスト縮減及び利用者サービスの向上策等の取組により、平成22年度から26年度までの前中期経営プランでは、計画を上回る実績を挙げており、次期中期経営プランでも、現時点では計画を上回る債務削減を果たしているなど、計画の達成が期待される。 青森空港有料道路については、平成27年12月に地元の有識者等で組織する検討委員会を設置し、空港有料道路のあり方を検討しているところであり、平成28年内にあるべき方向性について提言を受ける予定である。いただいた提言や県議会等の意見も踏まえ、空港有料道路に係る対応を決定することとしているものである。				
経営評価結果				【組織運営の健全性】					
評価区分	B:改善の余地あり			○					
<p><財務状況> 財務の状況については、赤字を計上することなく、黒字基調となっていることは評価できる。借入金残高は依然高い水準にあるものの、21期連続での減少となっている状況にある。</p> <p><経営状況> 法人が自己評価した経営評価指標の項目については、各評価項目において、概ね妥当なもの認められる。</p> <p><改善事項等> 平成26年度に新たな「中期経営プラン(平成26年度～平成30年度)」を策定し、引き続き着実に長期債務の解消に向け取り組んでいるが、借入時の金利が高い債務も散見されるところであり、県と協議のうえ、繰上償還等による早期の債務解消に向けた各方策を検討・実施していただきたい。</p> <p>また、平成29年7月で料金徴収期間が満了する青森空港有料道路に関する検討に当たっては、県民の十分な理解を得られるよう対応していくことを期待する。</p>				<p>【経営の効率性】</p> <p>◎</p> <p>今年度、業務内容の検討や老朽化する設備の更新等のため技術職員を増員し、適切な施設管理等による道路の安全確保に努めながら、経費節減にも取り組み、計画を上回る債務削減を達成している。</p>					
				【財務状況の健全性】					
				○					
				<p>多額の長期債務を抱えているものの、入札による借入先の決定など金利負担の軽減に取り組むなど、収益力の向上と債務圧縮を着実に実現しており、財務状況が改善されてきている。</p>					